

令和 2 年度

宮 崎 県 立 延 岡 病 院
年 報

宮 崎 県 立 延 岡 病 院

〒882-0835

宮崎県延岡市新小路 2-1-10

電話(代) (0982) 32-6181

FAX (0982) 32-6759

理 念

患者さん本位の良質で安全な医療の提供

基本方針

1. 患者さんの権利を尊重し、理解と納得に基づく安全で信頼される医療を行い、患者さんの立場に立った医療の提供に努めます。
2. 高度で先進的な医療に取り組み、地域の中核病院として質の高い医療の提供に努めます。
3. 二次・三次救急医療に取り組み、公立病院として地域住民が安心できる医療の確保に努めます。
4. 地域の医療機関との連携と地域社会に密着した保健医療活動を進め、開かれた病院として地域の保健・医療の向上に努めます。
5. 医療従事者として常に知識・技術を高め、質の高い医療の提供に努めます。

患者憲章

県立延岡病院は、病院の理念に則り、医療の中心は患者さんのためであることを深く認識し、一人一人の患者さんに次のような権利と責務があることを宣言します。

1. 良質な医療を平等に受ける権利
社会的地位、人種、信条等を問わず、安全に配慮した良質な医療を平等に受ける権利があります。
2. 知る権利
病気、検査、治療、予後等について、理解しやすい言葉などで納得できるまで、十分な説明を受ける権利があります。
3. 自己決定権
医療を受ける際、十分な説明を受けた上で受けるかどうかを自分で決定する権利があります。
4. 尊厳性への権利
どのような時でも人格を尊重され、尊厳をもって医療を受けることができます。
5. プライバシー保護の権利
病院関係者が知り得た全ての個人情報について、保護を受ける権利があります。
6. 責務
 - (1) 以上の権利を守るため、医師及び医療従事者と力を合わせて医療に参加・協力する責任があります。
 - (2) 院内の秩序と快適な療養環境を守るため、院内の諸規則を遵守する責任があります。

まえがき

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）第5波の予感を感じさせられる昨今、世界中日本中でワクチン接種が次第に拡大しているとはいっても、まだまだ制約された生活が強いられている現状ではないでしょうか。我々医療の世界に身を奉じる者にとっては、感染拡大防止に努める一方で、常日頃の医療活動に泰然自若として対峙していかなければなりません。

当院は、昭和23年9月に開院し、歴代の院長のもと、宮崎県北地区の中核病院として2次、3次医療に貢献を続けて参りました。医療の世界を紐解くと、医師をリーダーとする診療、そして看護、薬剤、臨床検査、放射線、リハビリテーション、臨床工学、栄養管理、医療事務など多くの部門から構成されています。それぞれの職務に就く医療人が研ぎ澄まされたスキルを持って結集することで、チーム力が発揮され、本院の理念である「良質で安全な医療の提供」が可能になるものと確信しています。

この「年報」は、最新の「病院概要」並びに丸々1年間コロナ禍の最中にあった令和2年度の日々の職務遂行の結果である「医療実績」に加え、日本中で学会活動等が制限される中であっても、各職員が知識の習得と技術の向上を目指して、自己研鑽を積んできた結果をオンライン学会発表や論文発表として形に表した「研究業績」から構成されています。コロナ禍という逆境の中であっても、当院で勤務する医療人達が実践してきた「理路整然とした科学」の1ページを垣間見て頂けたら幸いです。

医療とは、理路整然とした科学と、心溢れる情熱の融合である。

令和3年7月

宮崎県立延岡病院・第8代院長 寺尾公成

【歴代院長】

初代	船渡 護	昭和24年 1月	—	昭和59年12月	内科
2代	永田 高見	昭和59年12月	—	平成 9年 3月	整形外科
3代	本田 正之	平成 9年 4月	—	平成15年 3月	産婦人科
4代	小川 道雄	平成15年 4月	—	平成17年 3月	外科
5代	中原 莊	平成17年 4月	—	平成19年 3月	脳神経外科
6代	楠元 志都生	平成19年 7月	—	平成26年 3月	放射線科
7代	柳邊 安秀	平成26年 4月	—	平成31年 3月	小児科
8代	寺尾 公成	平成31年（令和元年）4月	—	現在	産婦人科

目 次

第1章 病院概要

1. 病院事業の執行状況	1
2. 主な沿革	2
3. 現況	2
4. 病院組織機構図	3
5. 委員会等組織機構図	4
6. 職員数調	5

第2章 医療実績

1. 入院・外来患者数	6
2. 救急患者受入状況	7
3. 手術件数	8
4. 周産期件数	9
5. 透析件数	9
6. 剖検件数・臨床検査件数	9
7. 放射線件数	10
8. 薬剤関係件数	11
9. リハビリテーション件数	12
10. 臨床工学関連件数	13
11. 患者食数	13

第3章 研究業績

1. 内科	14
2. 循環器内科	16
3. 小児科	18
4. 外科	19
5. 脳神経外科	22
6. 呼吸器外科	23
7. 心臓血管外科	24
8. 泌尿器科	25
9. 産婦人科・周産期科	26
10. 放射線科	27
11. 歯科口腔外科	28
12. 麻酔科	29
13. 救命救急科	30
14. 病理診断科	33
15. リハビリテーション科	34
16. 臨床検査科	35
17. 栄養管理科	36
18. 臨床工学科	37
19. 薬剤部	38
20. 看護部	39
21. 県立延岡病院学会	43
22. 県民健康講座	46
23. チーム医療セミナー	46

第1章 病院概要

1. 病院事業の執行状況

事業執行状況

当院は、県北地域における高度医療や救急医療を提供する中核病院として、また、地域完結型医療の提供を目指す地域医療支援病院として、さらには地域災害拠点病院として、その役割を果たすことが求められており、質の高い医療の提供とそれを支えるスタッフの確保・充実を図るとともに、住民が安心できる医療提供体制の整備等、地域の医療機関との連携強化等に努めているところである。

経営面においては、より高い収益を確保するため、重症患者を中心に受け入れる急性期病院に認められる急性期一般入院料1（旧7：1入院基本料）や特定集中治療室管理料（ICU）等の施設基準を維持するとともに、診断群分類別包括評価制度（DPC制度）を導入した病院に与えられる医療機関別係数の上昇に取り組むほか、DPCデータ分析による効率的診療の追求や請求内容の改善等を図っている。一方、事業費については、後発医薬品（ジェネリック）の採用促進や診療材料の共同購入品への切り替えなど積極的な経費節減に取り組んでいる。

こうした中、令和2年度の病院事業収益は、新型コロナウイルス感染症の影響により、一部の診療科を除き入院・外来の延患者数が減少したことから、入院収益、外来収益ともに減少したが、新型コロナウイルス患者等入院病床確保支援事業に伴う一般会計負担金（いわゆる空床確保料）の受入れや特別利益

（新型コロナウイルス感染症対応従事者慰労金）の計上などにより、令和元年度に比べ1,153,031千円の増加となった。

病院事業費用は、新型コロナウイルス感染症の影響による延患者数の減に伴い経常費用は減少したが、特別損失（新型コロナウイルス感染症対応従事者慰労金）を計上したことにより、令和元年度に比べ68,199千円の増加となった。

この結果、令和2年度の損益は1,293,748千円の純利益となり、前年度と比較すると1,084,832千円の増となった。

ア. 患者の利用状況

患者数は、延入院患者数99,021人（1日平均271人）、延外来患者数93,721人（1日平均386人）で、前年度に比べ、入院については12,670人（1日平均34人）の減、外来については7,512人（1日平均36人）の減となった。

イ. 収支の状況

収支（損益）は、総収益13,436,079,646円、総費用12,142,331,463円となり、差引1,293,748,183円の当年度純利益を計上した。

ウ. 施設の整備状況

施設の整備については、昇降機設備改修工事や固定電話交換機改修工事等を行った。医療機械では、全身用X線断層撮影装置や手術室用外科用イメージなどの更新を行った。また、県北地区の迅速で高度な救急医療の提供を図るため、県内では初めて救急車型のドクターカーを購入し、令和3年4月から運用を開始したところである。

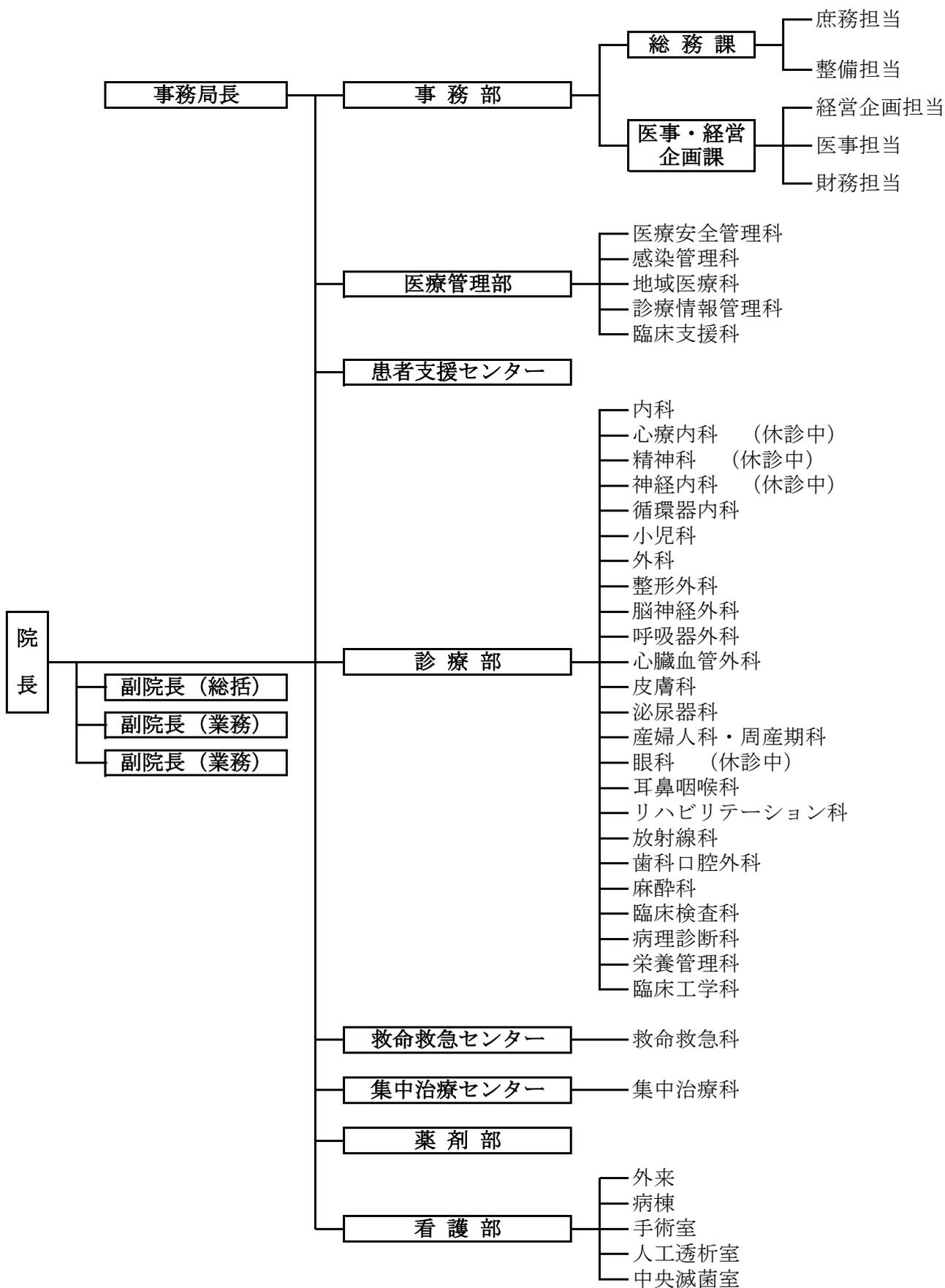
2. 主な沿革

昭和23年9月	延岡市浄満町にあった日本医療団延岡病院を買収して開院
昭和24年12月	済生会延岡病院及び旧延岡保健所の両施設を利用して現在地に移転、診療科2科（内科、外科）病床数42床（一般）
昭和25年2月	産婦人科を増設
5月	耳鼻咽喉科、眼科を増設
昭和31年6月	小児科、整形外科、皮膚泌尿器科、歯科を増設
昭和44年4月	脳神経外科を増設
昭和54年3月	許可病床数を460床（一般420床、伝染40床）に変更
平成9年11月	心臓血管外科、精神科を増設
平成10年4月	リハビリテーション科を増設 救命救急センターに指定された
平成10年7月	全面改築工事竣工
平成11年4月	心療内科を増設 感染症新法施行に伴い伝染病床40床を廃止し、病床数を460床（一般456床、感染4床）に変更
平成12年3月	全ての診療科で院外処方せんの発行を開始
平成14年5月	循環器科を増設
平成17年1月	財団法人日本医療機能評価機構から病院機能評価の認定を受けた
4月	救命救急科を設置
平成18年5月	電子カルテシステムが稼働
11月	地域医療支援病院の承認を受けた
12月	一般病棟7対1入院基本料を取得
平成20年1月	敷地内禁煙の開始
4月	DPC対象病院となり、DPC請求を開始 地域周産期母子医療センターに認定された
平成22年4月	臨床工学科及び病理診断科を設置
平成24年3月	病児等保育施設が完成（4月保育開始）
平成25年2月	新電子カルテシステムが稼働
3月	屋上ヘリポートを備えた救命救急センターが竣工
平成27年4月	入院支援センター及び感染管理科を設置
平成28年7月	診療科23科（呼吸器外科新設）となる
平成31年3月	心臓カテーテル室2室、ハイブリッド手術室1室（未整備）を備えた心臓脳血管センターが竣工 許可病床数を410床（一般406床、感染4床）に変更
令和2年4月	患者支援センター（医療連携、入退院支援、相談）を設置
令和3年4月	集中治療センター・集中治療科を設置 医療管理部に診療情報管理科及び臨床支援科を設置 ドクターカー（病院の高規格救急車）の運行開始

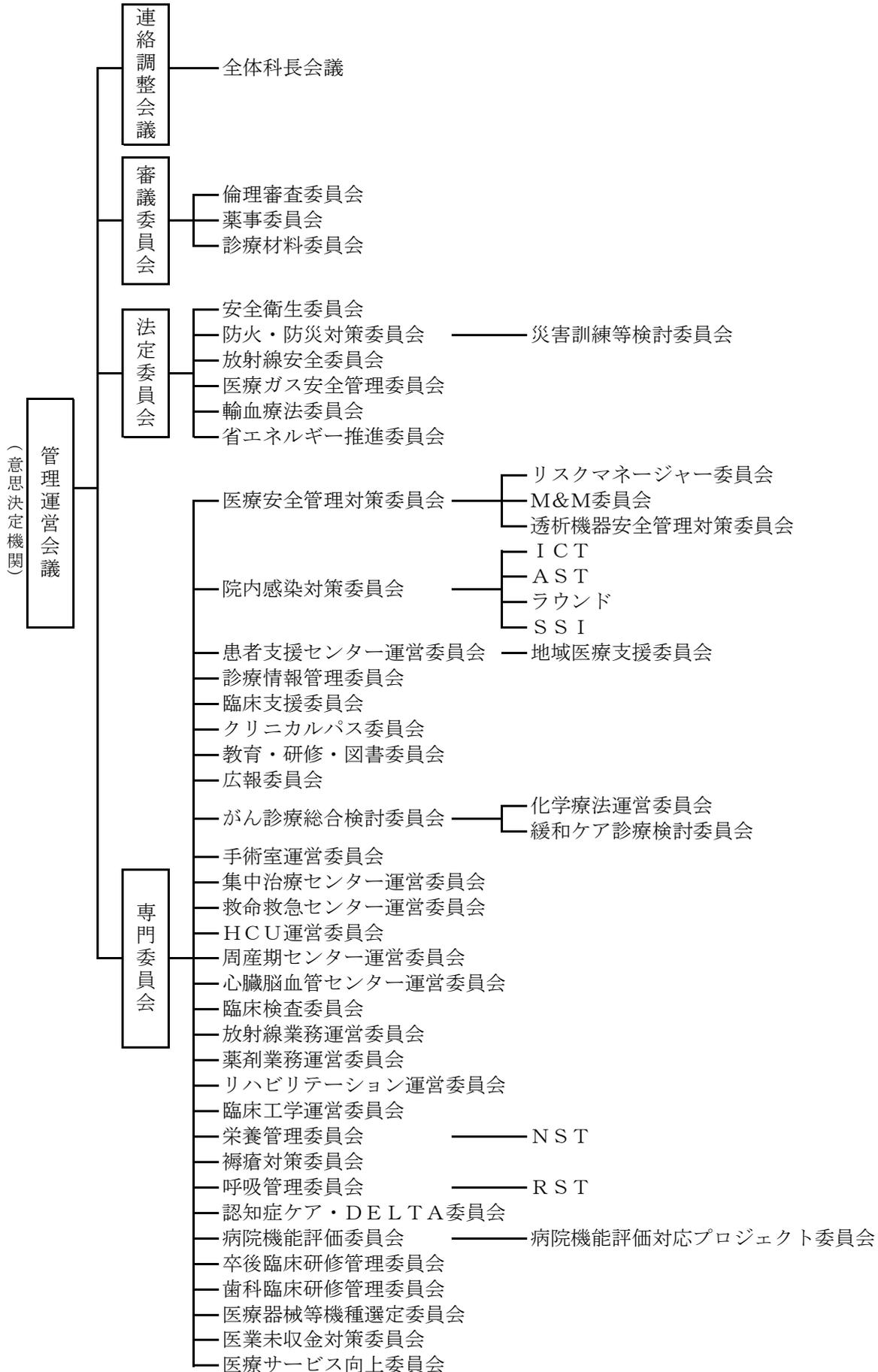
3. 現況（令和3年3月31日現在）

所在地	〒882-0835 宮崎県延岡市新小路2-1-10
開設年月日	昭和23年9月1日
病床数	一般406床 感染4床 合計410床
施設の規模	土地 …31,245.07 m ² 建物 …35,234.81 m ² 駐車場 … 外来用：327台 職員用：240台
標榜診療科	内科、心療内科、精神科、神経内科、循環器内科、小児科、外科、呼吸器外科、整形外科、脳神経外科、心臓血管外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、歯科口腔外科、麻酔科、救命救急科、臨床検査科、病理診断科（計23診療科 心療内科、精神科、神経内科、眼科は休診中）
診療報酬	急性期一般入院基本料1 総合入院体制加算3 特定集中治療室管理料3（ICU） 新生児特定集中治療室管理料2（NICU） 医師事務作業補助体制加算1（40対1） 地域医療体制確保加算 等

4. 病院組織機構図 (令和3年5月1日現在)



5. 委員会等組織機構図 (令和3年5月1日現在)



6. 職員数調

区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	増減数 (R2・R3比較)
医 師	56	58	61	3
歯 科 医 師	3	3	3	0
薬 剤 師	17	17	18	1
診 療 放 射 線 技 師	16	16	16	0
臨 床 検 査 技 師	20	20	21	1
管 理 栄 養 士	7	6	6	0
臨 床 工 学 技 士	9	9	10	1
理 学 療 法 士	9	9	9	0
作 業 療 法 士	4	4	4	0
言 語 聴 覚 士	2	3	3	0
看 護 師	380	375	375	0
事 務 員	11	11	11	0
合 計	534	531	537	6
会 計 年 度 任 用 職 員	164	162	191	29
臨 床 研 修 医	35	33	24	▲ 9

※ 各年度5月1日時点（臨床研修医は年間の実人数）

第2章 医療実績

1. 入院・外来患者数

(単位：人)

区 分		入 院				外 来			
		令和元年度 (A) 366日	令和2年度 (B) 365日	対前年度比較		令和元年度 (a) 240日	令和2年度 (b) 243日	対前年度比較	
				増減数 (B-A)	増減率 (B/A)			増減数 (b-a)	増減率 (b/a)
内科	延数	29,884	27,268	-2,616	91.2%	19,665	18,986	-679	96.5%
	1日平均	81.7	74.7	-6.9	91.5%	81.9	78.1	-3.8	95.4%
心療内科 ・精神科	延数	0	0	0	-	0	214	214	-
	1日平均	0.0	0.0	0.0	-	0.0	0.9	0.9	-
神経内科	延数	0	0	0	-	0	0	0	-
	1日平均	0.0	0.0	0.0	-	0.0	0.0	0.0	-
循環器 内科	延数	12,243	9,529	-2,714	77.8%	9,805	9,444	-361	96.3%
	1日平均	33.5	26.1	-7.3	78.0%	40.9	38.9	-2.0	95.1%
小児科	延数	3,104	1,643	-1,461	52.9%	6,000	4,879	-1,121	81.3%
	1日平均	8.5	4.5	-4.0	53.1%	25.0	20.1	-4.9	80.3%
外科	延数	13,058	10,577	-2,481	81.0%	9,812	9,236	-576	94.1%
	1日平均	35.7	29.0	-6.7	81.2%	40.9	38.0	-2.9	93.0%
呼吸器 外科	延数	3,151	2,935	-216	93.1%	2,635	3,161	526	120.0%
	1日平均	8.6	8.0	-0.6	93.4%	11.0	13.0	2.0	118.5%
整形外科	延数	15,230	15,802	572	103.8%	9,582	7,644	-1,938	79.8%
	1日平均	41.6	43.3	1.7	104.0%	39.9	31.5	-8.5	78.8%
脳神経 外科	延数	9,066	8,180	-886	90.2%	3,451	3,356	-95	97.2%
	1日平均	24.8	22.4	-2.4	90.5%	14.4	13.8	-0.6	96.0%
心臓血管 外科	延数	3,490	2,696	-794	77.2%	2,897	2,046	-851	70.6%
	1日平均	9.5	7.4	-2.1	77.5%	12.1	8.4	-3.7	69.8%
皮膚科	延数	0	0	0	-	4,028	3,009	-1,019	74.7%
	1日平均	0.0	0.0	0.0	-	16.8	12.4	-4.4	73.8%
泌尿器科	延数	2,255	1,774	-481	78.7%	4,527	4,521	-6	99.9%
	1日平均	6.2	4.9	-1.3	78.9%	18.9	18.6	-0.3	98.6%
産婦人科 ・周産期科	延数	14,408	12,274	-2,134	85.2%	6,727	6,655	-72	98.9%
	1日平均	39.4	33.6	-5.7	85.4%	28.0	27.4	-0.6	97.7%
眼科	延数	0	0	0	-	72	26	-46	36.1%
	1日平均	0.0	0.0	0.0	-	0.3	0.1	-0.2	35.7%
耳鼻咽喉科	延数	1,250	922	-328	73.8%	3,855	3,476	-379	90.2%
	1日平均	3.4	2.5	-0.9	74.0%	16.1	14.3	-1.8	89.1%
放射線科	延数	0	0	0	-	2,978	4,514	1,536	151.6%
	1日平均	0.0	0.0	0.0	-	12.4	18.6	6.2	149.7%
歯科 口腔外科	延数	1,151	1,295	144	112.5%	12,986	10,724	-2,262	82.6%
	1日平均	3.1	3.5	0.4	112.8%	54.1	44.1	-10.0	81.6%
救命救急科	延数	3,401	4,126	725	121.3%	2,213	1,819	-394	82.2%
	1日平均	9.3	11.3	2.0	121.6%	9.2	7.5	-1.7	81.2%
計	延数	111,691	99,021	-12,670	88.7%	101,233	93,710	-7,523	92.6%
	1日平均	305.2	271.3	-33.9	88.9%	421.8	385.6	-36.2	91.4%

※ 各年度（4月1日～3月31日）の患者数を集計。

※ 一日平均患者数は小数点第2位を四捨五入。

2. 救急患者受入状況

(単位：件)

区 分				令和元年度 (A)	令和2年度 (B)	対前年度比較	
						増減数 (B-A)	増減率 (B/A)
平 日 ・ 時 間 内	へり	転 搬	入院	8	12	4	150.0%
			外来	1	2	1	200.0%
		直 搬	入院	14	25	11	178.6%
			外来	3	3	0	100.0%
		計	入院	22	37	15	168.2%
			外来	4	5	1	125.0%
	救急車	転 搬	入院	503	453	-50	90.1%
			外来	66	38	-28	57.6%
		直 搬	入院	259	299	40	115.4%
			外来	93	126	33	135.5%
		計	入院	762	752	-10	98.7%
			外来	159	164	5	103.1%
	そ の 他	入院	197	170	-27	86.3%	
		外来	60	60	0	100.0%	
合 計	入院	981	959	-22	97.8%		
	外来	223	229	6	102.7%		
休 日 ・ 夜 間	初期救急 医療施設 より転送	へり	入院	3	4	1	133.3%
			外来	0	0	0	-
		救 急 車	入院	549	451	-98	82.1%
			外来	73	56	-17	76.7%
		そ の 他	入院	253	181	-72	71.5%
			外来	184	108	-76	58.7%
	計	入院	805	636	-169	79.0%	
		外来	257	164	-93	63.8%	
	紹介無し	へり	入院	10	13	3	130.0%
			外来	1	3	2	300.0%
		救 急 車	入院	1,000	971	-29	97.1%
			外来	673	587	-86	87.2%
		そ の 他	入院	608	496	-112	81.6%
			外来	1,318	868	-450	65.9%
計	入院	1,618	1,480	-138	91.5%		
	外来	1,992	1,458	-534	73.2%		
合 計	入院	2,423	2,116	-307	87.3%		
	外来	2,249	1,622	-627	72.1%		
総 計		入院	3,404	3,075	-329	90.3%	
		外来	2,472	1,851	-621	74.9%	
		計	5,876	4,926	-950	83.8%	

※ 各年度（4月1日～3月31日）の救急患者数を集計。

※ 休日は土日祝日の8:30～翌8:29、夜間は平日の17:00～翌8:29、平日・時間内は平日の8:30～16:59として集計。

3. 手術件数

(単位：件)

区 分		令和元年度 (A)	令和2年度 (B)	対前年度 増減率 (B/A)
内科	5,000点未満	91	83	91.2%
	5,000～19,999点	186	196	105.4%
	20,000点以上	15	10	66.7%
	計	292	289	99.0%
心療内科 ・精神科	5,000点未満	0	0	-
	5,000～19,999点	0	0	-
	20,000点以上	0	0	-
	計	0	0	-
神経内科	5,000点未満	0	0	-
	5,000～19,999点	0	0	-
	20,000点以上	0	0	-
	計	0	0	-
循環器 内科	5,000点未満	118	146	123.7%
	5,000～19,999点	196	154	78.6%
	20,000点以上	460	497	108.0%
	計	774	797	103.0%
小児科	5,000点未満	3	1	33.3%
	5,000～19,999点	9	11	122.2%
	20,000点以上	0	0	-
	計	12	12	100.0%
外科	5,000点未満	93	82	88.2%
	5,000～19,999点	451	403	89.4%
	20,000点以上	363	310	85.4%
	計	907	795	87.7%
呼吸器 外科	5,000点未満	26	24	92.3%
	5,000～19,999点	9	13	144.4%
	20,000点以上	139	134	96.4%
	計	174	171	98.3%
整形外科	5,000点未満	241	181	75.1%
	5,000～19,999点	581	557	95.9%
	20,000点以上	281	281	100.0%
	計	1,103	1,019	92.4%
脳神経 外科	5,000点未満	47	43	91.5%
	5,000～19,999点	74	72	97.3%
	20,000点以上	114	84	73.7%
	計	235	199	84.7%
心臓血管 外科	5,000点未満	114	67	58.8%
	5,000～19,999点	75	11	14.7%
	20,000点以上	206	150	72.8%
	計	395	228	57.7%

区 分		令和元年度 (A)	令和2年度 (B)	対前年度 増減率 (B/A)
皮膚科	5,000点未満	182	19	10.4%
	5,000～19,999点	27	0	0.0%
	20,000点以上	5	0	0.0%
	計	214	19	8.9%
泌尿器科	5,000点未満	98	112	114.3%
	5,000～19,999点	75	69	92.0%
	20,000点以上	99	71	71.7%
	計	272	252	92.6%
産婦人科 ・周産期科	5,000点未満	134	124	92.5%
	5,000～19,999点	157	114	72.6%
	20,000点以上	330	290	87.9%
	計	621	528	85.0%
眼科	5,000点未満	0	0	-
	5,000～19,999点	0	0	-
	20,000点以上	0	0	-
	計	0	0	-
耳鼻咽喉科	5,000点未満	139	81	58.3%
	5,000～19,999点	41	13	31.7%
	20,000点以上	29	15	51.7%
	計	209	109	52.2%
放射線科	5,000点未満	0	0	-
	5,000～19,999点	0	0	-
	20,000点以上	0	0	-
	計	0	0	-
歯科 口腔外科	5,000点未満	1,764	1,426	80.8%
	5,000～19,999点	22	17	77.3%
	20,000点以上	6	9	150.0%
	計	1,792	1,452	81.0%
救命救急科	5,000点未満	163	221	135.6%
	5,000～19,999点	3	14	466.7%
	20,000点以上	4	13	325.0%
	計	170	248	145.9%
計	5,000点未満	3,102	2,610	84.1%
	5,000～19,999点	1,795	1,644	91.6%
	20,000点以上	1,994	1,864	93.5%
	計	6,891	6,118	88.8%

※ 各年度（4月1日～3月31日）の保険点数上、手術として取扱った件数を集計。

4. 周産期件数

(単位：人)

区 分	令和元年度 (A)	令和2年度 (B)	対前年度比較	
			増減数 (B-A)	増減率 (B/A)
経膈分娩	185	123	-62	66.5%
帝王切開	112	108	-4	96.4%
合計	297	231	-66	77.8%
周産期センター入院数	159	132	-27	83.0%

※ 各年度（4月1日～3月31日）で集計。

5. 透析件数

(単位：人、件)

区 分		令和元年度 (A)	令和2年度 (B)	対前年度比較	
				増減数 (B-A)	増減率 (B/A)
人工透析 (透析台数：10台)	実患者数	189	181	-8	95.8%
	延透析回数	1,591	1,274	-317	80.1%

※ 各年度（4月1日～3月31日）の透析患者数、件数を集計

※ 透析台数は令和2年3月31日現在。

6. 剖検件数・臨床検査件数（委託・受託検査を除く）

(単位：件)

区 分		令和元年度 (A)	令和2年度 (B)	対前年度比較	
				増減数 (B-A)	増減率 (B/A)
剖 検 件 数		13	15	2	115.4%
臨 床 検 査	一 般 検 査	21,609	20,295	-1,314	93.9%
	血 液 検 査	153,970	154,727	757	100.5%
	微 生 物 検 査	21,428	18,794	-2,634	87.7%
	輸 血 検 査	22,922	20,452	-2,470	89.2%
	生 化 検 査	945,235	928,130	-17,105	98.2%
	病 理・細 胞 診 検 査	14,531	14,170	-361	97.5%
	生 理 検 査	20,456	18,152	-2,304	88.7%
	コ ロ ナ に 関 す る 検 査 (P C R 検 査)	-	6,946	6,946	-
合 計		1,200,164	1,181,681	-18,483	98.5%

※ 各年度（4月1日～3月31日）の件数を集計。

7.放射線件数

(単位：人、件)

区 分			令和元年度 (A)	令和2年度 (B)	対前年度比較	
					増減数 (B - A)	増減率 (B / A)
直接撮影	単純	延患者数	44,214	41,506	-2,708	93.9%
		延件数	56,553	53,398	-3,155	94.4%
	造影	延患者数	853	731	-122	85.7%
		延件数	3,206	3,151	-55	98.3%
特殊撮影	血管造影	延患者数	1,196	1,121	-75	93.7%
		延件数	20,888	25,473	4,585	122.0%
	C T	延患者数	12,536	12,133	-403	96.8%
		延件数	30,032	31,096	1,064	103.5%
	R I	延患者数	651	745	94	114.4%
		延件数	4,133	4,936	803	119.4%
	MR I	延患者数	2,465	2,684	219	108.9%
		延件数	17,860	21,855	3,995	122.4%
放射線治療	リニアック	延患者数	4,498	5,921	1,423	131.6%
		延件数	9,990	14,392	4,402	144.1%
	その他	延患者数	191	256	65	134.0%
		延件数	191	256	65	134.0%
その他		延患者数	4,337	4,858	521	112.0%
		延件数	4,337	4,858	521	112.0%
合計		延患者数	70,941	69,955	-986	98.6%
		延件数	147,190	159,415	12,225	108.3%

※ 各年度（4月1日～3月31日）の患者数、件数を集計。

※ 件数については、直接撮影は曝射回数を、特殊撮影は撮影方向数を計上。

※ その他については、骨塩定量、医用画像の提供等上記のいずれにも属さないものを計上した。

8. 薬剤関係件数

(単位：件)

区 分			令和元年度 (A)	令和2年度 (B)	対前年度比較		
					増減数 (B-A)	増減率 (B/A)	
調 剤 件 数	調 内用	入 院	86,833	79,919	-6,914	92.0%	
		外 来	7,032	4,212	-2,820	59.9%	
		計	93,865	84,131	-9,734	89.6%	
	剤 外用	入 院	8,719	7,811	-908	89.6%	
		外 来	930	584	-346	62.8%	
		計	9,649	8,395	-1,254	87.0%	
	件 頓服	入 院	10,383	9,662	-721	93.1%	
		外 来	1,263	1,141	-122	90.3%	
		計	11,646	10,803	-843	92.8%	
	数 計	入 院	105,935	97,392	-8,543	91.9%	
		外 来	9,225	5,937	-3,288	64.4%	
		計	115,160	103,329	-11,831	89.7%	
数 処方せん枚数 (枚)	入 院	50,884	48,322	-2,562	95.0%		
	外 来	2,320	1,451	-869	62.5%		
	計	53,204	49,773	-3,431	93.6%		
院 外 処 方 せ ん 発 行 枚 数 (枚)			32,756	28,595	-4,161	87.3%	
注 射 関 係	注射交付件数	入院注射せんによる交付 (枚)		69,347	65,787	-3,560	94.9%
		外来注射せんによる交付 (枚)		17,735	17,719	-16	99.9%
	無菌調製件数	経中心静脈栄養	調製件数	204	133	-71	65.2%
			調剤件数	265	182	-83	68.7%
		入院患者抗がん剤	調製件数	2,122	2,328	206	109.7%
			調剤件数	3,544	3,880	336	109.5%
	外来患者抗がん剤	調製件数	3,034	3,244	210	106.9%	
		調剤件数	4,931	4,839	-92	98.1%	
	伝 票 に よ る 薬 剤 交 付 件 数			81,493	76,643	-4,850	94.0%
	製 剤 延 件 数			713	391	-322	54.8%
薬 物 血 中 濃 度 解 析 (T D M) 件 数			140	212	72	151.4%	
服 薬 指 導	指 導 患 者 数		4,761	4,369	-392	91.8%	
	指 導 件 数		6,066	6,043	-23	99.6%	
	薬 剤 管 理 指 導 件 数		6,011	6,021	10	100.2%	
	退院時薬剤情報管理指導件数		1,346	1,053	-293	78.2%	
	が ん 患 者 指 導 管 理 件 数		229	179	-50	78.2%	
特 定 薬 剤 管 理 指 導 料 2 算 定 件 数			431	430	-1	99.8%	
持 参 薬 鑑 別 件 数			6,080	5,755	-325	94.7%	

※ 各年度（4月1日～3月31日）の件数を集計。

9. リハビリテーション件数

(単位：件)

区 分			令和元年度 (A)	令和2年度 (B)	対前年度比較	
					増減数 (B-A)	増減率 (B/A)
リ	運動器	理学療法	13,180	13,596	416	103.2%
		作業療法	3,934	4,139	205	105.2%
		言語療法	0	0	0	-
ハ	脳血管疾患等	理学療法	5,784	6,439	655	111.3%
		作業療法	6,301	6,652	351	105.6%
		言語療法	4,767	6,205	1,438	130.2%
ビ	呼吸器	理学療法	2,353	2,137	-216	90.8%
		作業療法	755	640	-115	84.8%
		言語療法	0	1,077	1,077	-
リ	心大血管疾患	理学療法	5,892	5,248	-644	89.1%
		作業療法	1,000	1,461	461	146.1%
		言語療法	0	0	0	-
テ	がん患者	理学療法	2,055	3,053	998	148.6%
		作業療法	582	654	72	112.4%
		言語療法	144	714	570	495.8%
ー	廃用症候群	理学療法	4,871	4,174	-697	85.7%
		作業療法	1,757	1,253	-504	71.3%
		言語療法	67	167	100	249.3%
シ	摂食機能療法	理学療法	0	0	0	-
		作業療法	0	0	0	-
		言語療法	1,966	2,006	40	102.0%
ョ	初期加算	理学療法	18,074	18,901	827	104.6%
		作業療法	6,373	7,759	1,386	121.7%
		言語療法	2,761	4,267	1,506	154.5%
ン	早期加算	理学療法	26,329	27,342	1,013	103.8%
		作業療法	10,219	11,736	1,517	114.8%
		言語療法	4,208	6,512	2,304	154.8%
ン	総合評価	理学療法	2,014	1,964	-50	97.5%
		作業療法	453	407	-46	89.8%
		言語療法	50	102	52	204.0%
医学管理	退院時指導	理学療法	965	908	-57	94.1%
		作業療法	175	206	31	117.7%
		言語療法	31	45	14	145.2%
合 計		理学療法	81,517	83,762	2,245	102.8%
		作業療法	31,549	34,907	3,358	110.6%
		言語療法	13,994	21,095	7,101	150.7%

※ 各年度（4月1日～3月31日）の保険点数上、リハビリテーション料として取扱った件数を集計。

10. 臨床工学関連件数

(単位：件)

区分		令和元年度 (A)	令和2年度 (B)	対前年度比較	
				増減数 (B-A)	増減率 (B/A)
保守 点検 部門	日常・返却時点検	1,862	4,091	2,229	219.7%
	定期点検	682	610	-72	89.4%
	修理対応	471	483	12	102.5%
	呼吸器使用中点検	292	328	36	112.3%
手術 部門	人工心肺業務	49	32	-17	65.3%
	脳神経外科手術支援(MEP/SEP)	12	7	-5	58.3%
	手術室内機器保守管理	22	129	107	586.4%
	機器日常点検	3,695	3,554	-141	96.2%
	修理対応	136	136	0	100.0%
	内視鏡カメラ セッティング・記録支援	160	230	70	143.8%
心臓カ テ ー テ ル 部 門	検査・治療補助	1,114 急患=186 PCI =494	997 急患=235 PCI =479	-117	89.5%
	画像診断装置操作	40	70	30	175.0%
	補助循環業務(IABP)	45	45	0	100.0%
	補助循環業務(PCPS)	23	7	-16	30.4%
	ペースメーカー植え込み	120	117	-3	97.5%
	アブレーション	0	35	35	-
血液浄 化部 門	透析室業務	1,591	1,294	-297	81.3%
	出張透析	15	45	30	300.0%
	透析装置機器管理保守	18	4	-14	22.2%
	日常点検	4,097	4,012	-85	97.9%
	アフエレーシス業務	21	15	-6	71.4%
	急性血液浄化業務(CHDF PMX)	48	31	-17	64.6%
メ ー カ ー 関 連	外来定期検査	1,374	1,325	-49	96.4%
	遠隔モニタリング	1,423	1,881	458	132.2%
	検査/手術等に伴う設定変更	84	137	53	163.1%
SAS 関連	SAS関連(スクリーニング/ 簡易検査/PSG)	0	0	0	-
勉強会	勉強会	31	25	-6	80.6%
合計		17,425	19,640	2,215	112.7%

11. 患者食数

(単位：食)

区 分		令和元年度 (A) 366日	令和2年度 (B) 365日	対前年度比較		
				増減数 (B-A)	増減率 (B/A)	
常食	延給食数	80,467	71,451	-9,016	88.8%	
	1食平均	73.3	65.3	-8.0	89.0%	
軟食	延給食数	32,089	28,904	-3,185	90.1%	
	1食平均	29.2	26.4	-2.8	90.3%	
流動食	延給食数	29,489	27,162	-2,327	92.1%	
	1食平均	26.9	24.8	-2.1	92.4%	
特別 食	加算あり	延給食数	83,547	69,143	-14,404	82.8%
		1食平均	76.1	63.1	-12.9	83.0%
	加算なし	延給食数	37,441	38,721	1,280	103.4%
		1食平均	34.1	35.4	1.3	103.7%
合計		延給食数	263,033	235,381	-27,652	89.5%
		1食平均	239.6	215.0	-24.6	89.7%

※ 各年度(4月1日～3月31日)で集計。

第3章 研究業績

内 科

学会発表

- 当院における再生不良性貧血（AA）症例に対するエルトロンボパグ（EPAG）療法のまとめ
外山孝典
第 82 回日本血液学会学術集会 2020.10.9 京都市（Web）

- 血液透析導入時のポリファーマシーと予後との関連
戸井田達典、戸井田玲子、海老原尚、小松弘幸、上園繁弘、藤元昭一
第 63 回日本透析医学会総会 2020.11.2-8 横浜市

- Impact of polypharmacy on all-cause mortality, all cause hospitalization and cardiovascular events in initial Japanese hemodialysis patients
Tatsunori Toida, Reiko Toida, Shou Ebihara, Shigehiro Uezono, Hiroyuki Komatsu, Yuji Sato, Shouichi Fujimoto
The 57th ERA-EDTA Congress 2020 2020.6.6-9 Milan

講演会・研究会

- CKD 合併糖尿病患者の治療～SGLT2 阻害薬の大規模臨床試験を踏まえて～
戸井田達典
Diabetes Web Seminar 2020.7.16 （WEB 配信）

- 慢性腎臓病（CKD）患者における低亜鉛血症治療の意義
戸井田達典
低亜鉛血症オンライン講演会 2020.10.29 （WEB 配信）

- CKD 患者における高血圧の治療
戸井田達典
高血圧 Web Forum in 宮崎 2020.11.25 （WEB 配信）

- 慢性腎臓病（CKD）患者を地域でみる、チームでみる～糖尿病性腎臓病（DKD）を中心に～
戸井田達典
西臼杵郡医師会学術講演会 特別講演 2020.12.7 （WEB 配信）

- 保存期から透析期の腎性貧血治療
戸井田達典
房総腎性貧血治療カンファレンス 特別講演 2020. 12. 22 (WEB 配信)
- 透析患者における低亜鉛血症の現状と今後の期待
戸井田達典
低亜鉛血症オンライン講演会 in 宮崎 特別講演 2021. 1. 21 (WEB 配信)
- 慢性腎臓病 (CKD) 患者を地域でみる、チームでみる～糖尿病性腎臓病 (DKD) を中心に～
戸井田達典
CKD&DKD Web Seminar 2021. 2. 25 (WEB 配信)
- 糖尿病性腎臓病 (DKD) 重症化予防のための治療戦略～脂質と腎症の関係～
戸井田達典
宮崎市郡内科医会学術講演会 特別講演 2021. 3. 3

学術論文掲載論文

【原著論文】

- Impact of C-Reactive Protein Levels on Differentiating of Sever Fever With Thrombocytopenia Syndrome From Japanese Spotted Fever.
Takeshi Kawaguchi, Kunihiko Umekita, Atsushi Yamanaka, Seiichiro Hara, Tetsuro Yamaguchi.
Open Forum Infectious Diseases. Volume7, Issue 11, November 2020
- Association between serum zinc levels and clinical index or the body composition in incident hemodialysis patients.
Toida T, Toida R, Ebihara S, Takahashi R, Komatsu H, Uezono S, Sato Y, Fujimoto S.
Nutrients. 2020, 12(10):3187.

【総説】

- 脳血管障害の疫学
戸井田達典
臨床透析 Vol. 36 No. 6(1) 2020. 6

循環器内科

学会発表

【国際学会】

- AHA congress 2020, 2020.11.13-17, Dallas, TX, USA
Ryota Kaichi, Kyohei Marume, Michikazu Nakai, Masanobu Ishii, Soshiro Ogata, Takayuki Mori, Soichi Komaki, Hiroaki Kusaka, Reiko Toida, Kazumasa Kurogi, Yoshihiro Miyamoto, Nobuyasu Yamamoto
Association Between Hospitalization Costs and Left Ventricular Ejection Fraction in Patients With Heart Failure in the Advanced Aging Society

【国内学会・研究会・シンポジウム・講演会】

- 第129回 日本循環器学会九州地方会 2020.12.5, WEB
＜YIAセッション＞
開地亮太、「超高齢化社会における心不全医療費の検討」
＜研修医セッション＞
御上 貴史、「心不全に対するフロセミドと血管拡張薬の早期投与について」
- 第32回 日本心血管インターベンション治療学会 九州・沖縄地方会 2021.01.15-16, WEB
＜YIAセッション＞
小牧聡一、「冠動脈石灰化病変に対する冠動脈CTのcalcium scoreとstent expansionの関連について」
開地亮太、「PCI治療中に出現したステント血栓症の原因をOCT所見から推察し治療戦略に活かした1例」
＜一般演題＞
石井正将、「CART techniqueを応用してワイヤーのプラーク内迷入を脱した左主幹部分岐部病変の1例」
小牧聡一、「short monorail lumen deviceのdeliveryに難渋し、GWのkinkを来した症例の検討」
森 隆之、「超高齢者へのPrimary PCIで生じた合併症の一例」
山本展誉、血管内イメージング・others 座長
黒木一公、Complication 3 座長
＜ミニレクチャー＞
黒木一公、「Synergy XD for complex lesion」

- 第29回日本心血管インターベンション学会 学術集会 2020.2.18-21 WEB
 <一般演題>
 山本展誉 ACS②セッション座長
 Alliance for Revolution and Interventional Cardiology Advancement 2020,
 2020.11.21-22, WEB,
 黒木一公, CTO 治療の合併症を知る 「心タンポナーデ」
 黒木一公, OCT でステント内再狭窄病変の治療戦略～debulking device 「OCT guided
 ELCA」
 黒木一公, DCA Wars Episode 5 コメンテーター
 黒木一公, インターベンショニストのための心臓CT研究会 「LAD os CTO の一例」

【英文原著】

1. Kurogi K, Ishii M, Tsujita K, Yamamoto N. Three-dimensional optical coherence tomography-guided double kissing crush stenting. EuroIntervention/PCRONline 2020
2. Kurogi K, Ishii M, Yamamoto N, Tsujita K
 Impact of stent platform on strut deformation after kissing balloon inflation in bifurcation lesion. Cardiovasc Interv and Ther (2021). <https://doi.org/10.1007/s12928-021-00757-8>
3. Kurogi K, Ishii M, Yamamoto N, Tsujita K
 Optical coherence tomography-guided percutaneous coronary intervention: a review of current clinical applications. Cardiovasc Interv and Ther (2021). <https://doi.org/10.1007/s12928-020-00745-4>
4. Ishii M, Seki T, Sakamoto K, Kaikita K, Miyamoto Y, Tsujita K, Masuda I, Kawakami K. Association of short term exposure to Asian dust with increased blood pressure. Sci Rep. 2020;10(1):17630.
5. Ishii M, Kurogi K, Yamamoto N, Tsujita K. The Controlled Antegrade and Antegrade Tracking (CAAT) technique for left main trunk bifurcation divided by a flap-like structure. <https://www.pcronline.com/Cases-resources-images/Images-interventional-cardiology/EuroIntervention-images/Controlled-antegrade-and-antegrade-tracking-technique-left-main-trunk-bifurcation>

小 児 科

学会発表

- 焦点起始発作を呈し、大脳皮質白質に異常所見を認めた2歳男児
岡田健太郎、佛淵尚人、小山真輝、野中俊彦、池田ちづる、中村賢二
2020. 8. 2 第89回日本小児神経学会九州地方会 北九州市

研究会

- 焦点起始発作を呈し、大脳皮質白質に異常所見を認めた2歳男児
岡田健太郎、佛淵尚人、小山真輝、野中俊彦、池田ちづる、中村賢二
2020. 7. 20 第2回熊本小児神経症例検討会 熊本市(Zoom上)
- 7ヶ月で未頸定の9ヶ月男児
佛淵尚人
2020. 8. 24 第3回熊本小児神経症例検討会 熊本市(Zoom上)
- 前頸部の腫脹を指摘された13歳女児
中村賢二
2020. 10. 14 第39回Let's Enjoy Endocrinology 熊本市(Zoom上)

論文

- 5年の経過で再発したGQ1b抗体陽性Fisher症候群
岡田健太郎、武藤雄一郎、和田邦泰、平井克樹、右田昌宏
日本小児科学会雑誌、2020年、124巻8号、1246-1250頁

外 科

学会発表

- 大腸癌根治術における感染性合併症の発生要因と予後因子の解析
土居浩一, 小川大輔, 木下翔太郎, 甲斐田剛圭, 石躍裕之
2020. 8. 13 第 120 回日本外科学会 千葉市 (完全 WEB)
- 小腸穿孔による感染性合併症の発生要因と予後因子の解析
石躍裕之, 土居浩一, 小川大輔, 木下翔太郎, 甲斐田剛圭
2019. 8. 13 第 120 回日本外科学会 千葉市 (完全 WEB)
- 閉塞性大腸癌根治術における金属ステント留置の有用性の検討
甲斐田剛圭, 小川大輔, 木下翔太郎, 石躍裕之, 土居浩一
2019. 8. 14 第 120 回日本外科学会 千葉市 (完全 WEB)
- 高齢者下部消化管穿孔における Comorbidity-polypharmacy score の検討
小川大輔, 土居浩一, 木下翔太郎, 甲斐田剛圭, 石躍裕之
2020. 8. 13 第 120 回日本外科学会 千葉市 (完全 WEB)
- 閉塞性大腸癌根治術における感染性合併症の栄養因子を含めたリスク因子の解析
木下翔太郎, 土居浩一, 甲斐田剛圭, 小川大輔, 石躍裕之
2020. 8. 15 第 120 回日本外科学会 千葉市 (完全 WEB)
- 急性虫垂炎手術における小児と成人の比較
河野文耶, 土居浩一, 木下翔太郎, 甲斐田剛圭, 石躍裕之
2020. 8. 15 第 120 回日本外科学会 千葉市 (完全 WEB)
- 腫瘍内リンパ球浸潤が肝細胞癌の予後と sorafenib 治療効果に与える影響
東 孝暁,
2020. 8. 15 第 120 回日本外科学会 千葉市 (完全 WEB)
- 急性胆嚢炎に対する経皮的ドレナージ術から胆嚢摘出術までのインターバルと術後合併症の関連
湯本信成, 宮成信友, 森戸 淳, 松本嵩史, 小澄敬祐, 美馬浩介, 井上光弘, 水元孝郎,
久保田竜生, 馬場秀夫
2020. 8. 14 第 120 回日本外科学会 千葉市 (完全 WEB)

- 肝細胞癌肝切除における術前 MRI の有用性
足立優樹
2020. 8. 13 第 120 回日本外科学会 千葉市 (完全 WEB)

- 高齢者における下部消化管穿孔における Comorbidity-polypharmacy score の有用性の検討
小川大輔, 土居浩一, 木下翔太郎, 甲斐田剛圭, 石躍裕之
2020. 10. 7 第 56 回日本腹部救急医学会 名古屋市 (完全 WEB)

- 大腸癌肝転移における肝動注化学療法の位置づけ
土居浩一, 甲斐田剛圭, 足立優樹, 湯本信成, 石躍裕之, 本田志延
2020. 10. 23 第 57 回日本癌治療学会 京都市 (ハイブリッド)

- 食道異物除去術における術式の工夫および治療成績
湯本信成, 宮成信友, 森戸 淳, 松本嵩史, 小澄敬祐, 美馬浩介, 井上光弘, 水元孝郎, 久保田竜生, 馬場秀夫
2020. 11. 5-8 第 28 回 JDDW 神戸市 (誌上発表)

- ステロイドおよび免疫抑制剤内服と大腸癌の長期予後
足立優樹, 徳永竜馬, 宮本裕士, 日吉幸晴, 江藤弘二郎, 原田和人, 岩槻政晃, 長井洋平, 岩上志郎, 吉田直矢, 馬場秀夫
2020. 11. 5-8 第 28 回 JDDW 神戸市 (誌上発表)

- 段階的肝切除を施行した直腸癌多発肝転移の一例
足立優樹, 湯本信成, 東 孝暁, 石躍裕之, 本田志延, 土居浩一、別府 透
2020. 11. 22 山鹿大腸癌セミナー 山鹿市 (ハイブリッド)

- 大腸癌手術における予後因子に関わる原因解析
土居浩一, 小川大輔, 木下翔太郎, 甲斐田剛圭, 石躍裕之
2020. 12. 14 第 75 回日本消化器外科学会総会 和歌山市 (完全 WEB)

- 術前ステント留置を施行した閉塞性大腸癌の検討
甲斐田剛圭, 小川大輔, 木下翔太郎, 石躍裕之, 土居浩一
2020. 12. 14 第 74 回日本消化器外科学会総会 和歌山市 (完全 WEB)

- 大腸癌根治術後感染性合併症のリスク因子の検討および術後炎症反応が及ぼす影響について
木下翔太郎, 土居浩一, 小川大輔, 甲斐田剛圭, 石躍裕之
2020. 12. 14 第 174 回日本消化器外科学会総会 和歌山市 (完全 WEB)

- 食道癌患者における ABI および baPWV と術後短期成績の関連
足立優樹, 吉田直矢, 岩槻政晃, 馬場祥史, 徳永竜馬, 江藤弘二郎, 岩上志郎, 宮本裕士,
馬場秀夫
2020. 12. 14 第 75 回日本消化器外科学会総会 和歌山市 (完全 WEB)

- 急性胆嚢炎症例における Frailty と術後短期成績の検討
湯本信成, 宮成信友, 森戸 淳, 松本嵩史, 小澄敬祐, 美馬浩介, 井上光弘, 水元孝郎,
久保田竜生, 馬場秀夫
2020. 12. 14 第 75 回日本消化器外科学会総会 和歌山市 (完全 WEB)

- 下部消化管穿孔性腹膜炎緊急手術後の予後予測における Surgical Δ score の
有用性の検討
東 孝暁, 武山秀晶, 武末 享, 山尾宣暢, 山村謙介, 今井克憲, 林 洋光, 山下洋市,
高森啓史, 馬場秀夫
2020. 12. 14 第 75 回日本消化器外科学会総会 和歌山市 (完全 WEB)

- 横行結腸アミロイドーシスからの腹腔内出血をきたした一例
湯本信成, 土居浩一, 足立優樹, 東 孝暁, 石躍裕之, 本田志延
2021. 2. 7 第 16 回日本消化管学会 姫路市 (完全 WEB)

脳神経外科

学会発表

- 延髄表面の椎骨動脈穿通枝破綻によるくも膜下出血の1例

水上 秀紀、植田 裕、西川 重幸

第46回 日本脳卒中学会学術集会 (STROKE 2021) 福岡/WEB開催

呼吸器外科

学会発表

- 森 浩貴(宮崎県立延岡病院 呼吸器外科), 能勢 直弘: 週末の術後管理を呼吸器外科医が行う必要があるか? 第37回日本呼吸器外科学会総会(2020. 5. 21 オンライン開催)
- 能勢 直弘(宮崎県立延岡病院 呼吸器外科), 森 浩貴: 原発性肺癌手術時にみられる胸膜プラークの検討(2020. 5. 21 オンライン開催)

論文

- 能勢 直弘(宮崎県立延岡病院 呼吸器外科), 森 浩貴: 肺癌手術前後就労状況の検討、肺癌 60 卷 4 号 314-318(2020. 08)
- 森 浩貴, 能勢 直弘, 矢野 隆郎, 富田 雅樹, 中村 都英: 右肺全摘後の対側膿胸に対して高頻度ジェット換気を用いて胸腔鏡下に手術を施行した1例、日本呼吸器外科学会雑誌 34 卷 7 号 746-750(2020. 11)

心 臓 血 管 外 科

学会発表

- Successful two cases results of Chimney TEVAR for Kommerell' s diverticulum
松山正和
第 73 回日本胸部外科学会 定期学術集会 2020.10.29 Web.

学術雑誌掲載論文

- 右鎖骨下動脈起始異常の Kommerell 憩室に対する Chimney 法ステントグラフト内挿術の 1 例
松山正和、白崎幸枝、川越勝也
日本心臓血管外科学会雑誌 2021; 30: 131-135

泌尿器科

学会発表

- 膀胱尿管逆流に伴う腎盂腎炎加療目的の後腹膜鏡下右腎摘除術で診断された悪性リンパ腫の一例

木村友哉, 山下康洋

2021. 1. 23, 日本泌尿器科学会第 92 回宮崎地方会, 宮崎市

産婦人科・周産期科

学会発表

- 当院における COVID-19 陽性者または疑似症例への対応について
長島陽子、紀 愛美、牧 洋平、山内 綾、大塚晃生、寺尾公成
令和 2 年度宮崎県産科婦人科学会・秋期学術講演会 2020.09.19 (宮崎市)
- 巨大卵巣腫瘍を疑い開腹手術後に虫垂原発の腹膜偽粘液腫と診断した 1 症例
徳田温子、牧 洋平、紀 愛美、山内 綾、大塚晃生、寺尾公成
令和 2 年度宮崎県産科婦人科学会・冬期学術講演会 2021.01.30 (宮崎市)

論文発表

- 母親のMS I 検査をきっかけとして、Lynch 症候群のサーベイランスにつなげることが出来た 1 例
宮崎県医師会医学会誌 Vol. 45, No. 1, 17-22, 2021
山口昌俊、伊井美奈代、安達容枝、大塚晃生、丸山るり子、鮫島 浩
- 帝王切開術における COVID-19 対応 ～当院でのシミュレーションを踏まえて～
宮崎県医師会医学会誌 Vol. 45, No. 1, 65-67, 2021
長島陽子、山内 綾、紀 愛美、牧 洋平、大塚晃生、寺尾公成

放射線科

【技師】

学会発表

- 診療放射線技師から見た Trinius の有用性
長友俊樹
2021. 3. 6 九州 心カテユーザーズミーティング Web 開催

講演

- フレッシュアップセミナー放射線技師のための医療安全
蕪 俊二
2021. 2. 20 (一社) 宮崎県放射線技師会 Web 開催

学術雑誌双書

- 救急医・診療放射線技師が認めた！CT 検査のスループットを変えてしまった
SOMATOM go Top の真価
蕪 俊二, 長友俊樹
Rad Fan メディカルアイ出版 2021 年 3 月号 2-3 頁

その他

- 造影 CT 検査の造影剤請求漏れに対するシステムの構築について
長友俊樹
2020. 9. 2 第 20 回県立延岡病院学会
- バーチャルグリッド処理画像における画質の検討
神崎智大
2020. 9. 3 第 20 回県立延岡病院学会
- 心臓脳血管センターの新循環器用 X 線装置と旧装置の比較
田代祐麻
2021. 3. 4 第 21 回県立延岡病院学会

齒科口腔外科

論文

- Dento-alveolar reconstruction using titanium mesh and bone grafting followed by dental implants placement for malunion and malocclusion after a maxillo-mandibular fracture

Journal of Oral and Maxillofacial Surgery, Medicine, and Pathology.

32-5, 370-376, 2020

Hiroyasu Kiyomiya, Shinnosuke Nogami, Daigo Yoshiga, Ikuya Miyamoto, Hisashi Ichimiya, Kenko Tanaka, Takeshi Kaneuji, Kensuke Yamauchi, Yoshihiro Yamashita, Tetsu Takahashi

麻 酔 科

学会発表

- 第 48 回日本救急医学会総会・学術集会
The duration of CPR skills for return of spontaneous circulation in out-of-hospital ventricular fibrillation
Takao Yano , Koitiro Yamauchi , Masahiko Nakamura, Kazuhiro Nagamine
2020. 11. 18～20 (web 発表)、岐阜市
- 第 48 回日本救急医学会総会・学術集会
非ショック適応心肺停止患者に対するアドレナリン投与時間効果
中村仁彦, 矢野隆郎、山内弘一郎、長峰育弘
2020. 11. 18. ～20 (web 発表)、岐阜市

座 長

- 第 48 回日本救急医学会総会・学術集会
パネルディスカッション 5 第 3 回 JAAM 多施設共同院外心停止レジストリ成果報告会
司会長崎大学病院 高度救命救急センター 田崎 修
宮崎県立延岡病院 救急センター・ICU 矢野 隆郎
2020. 11. 19、岐阜市

論 文

- 右肺全摘後の対側膿胸に対して高頻度ジェット換気を用いて、胸腔鏡下に手術を施行した 1 例、森 浩貴、能勢 直弘、矢野隆郎、富田 雅樹、中村 都英、日本呼吸器外科学会誌、746-750, 2020

学会ガイドライン

- 術中心停止に対するプラクティカルガイド 公益社団法人 日本麻酔科学会
作成：安全委員会 術中心肺蘇生ガイドライン作成 WG
WG 長：高橋 伸二
WG 委員：加藤里絵、小山 薫、篠塚 典弘、祖父江 和哉、高澤 知規、田中 克哉、矢野 隆郎
第 12 章 小児周術期蘇生の特殊性 矢野 隆郎 (担当)
- 日本版敗血症診療ガイドライン 2020 The Japanese Clinical Practice Guidelines for Management of Sepsis and Septic Shock 2020 (J-SSCG 2020)
矢野 隆郎 ほか、計 226 名
ガイドライン発行日 2020. 9. 28

救命救急科

学会発表

- 第24回日本救急医学会九州地方会
当院救命救急センター画像読影所見における見逃し症例防止の対策について
1) 宮崎県立延岡病院 救命救急科、2) 宮崎大学医学部附属病院 救命救急センター
後庵 篤 1) 2)、島津志帆子 1)、中村 仁彦 1)、長嶺 育弘 1)、落合秀信 2)

- 第48回日本救急医学会総会・学術集会：口演 Web 発表
外傷性凝固障害における補体活性化に関する研究
1) 宮崎県立延岡病院 救命救急科、2) 宮崎大学医学部病態解析医学講座 救急・災害医学分野、3) 宮崎県立宮崎病院 救命救急科
齋藤勝俊 1) 2)、安部智大 3)、落合秀信 2)

- 第48回日本救急医学会総会・学術集会
地方救命救急センターの診療体制変更に伴う変化について
1) 宮崎県立延岡病院 救命救急科、2) 宮崎大学医学部附属病院 救命救急センター
島津志帆子 1)、中村仁彦 1)、長嶺育弘 1)、金丸勝弘 2) 落合秀信 2)

- 第48回日本救急医学会総会・学術集会
非ショック適応心肺停止患者に対するアドレナリン投与時間効果
1) 宮崎県立延岡病院 救命救急科、2) 同集中治療室、3) 宮崎大学医学部附属病院救命救急センター
中村仁彦 1)、長嶺育弘 1)、山内弘一郎 2)、矢野隆郎 2)、落合秀信 3)

- 第116回日本精神神経学会学術総会：シンポジウム
精神・一般救急医療連携～地域における実践からその先を考える～
精神科医師不在の地方救命救急センターにおける地域連携のあり方について
1) 宮崎県立延岡病院 救命救急科、2) 宮崎大学医学部病態解析医学講座 救急・災害医学分野
長嶺育弘 1)、金丸勝弘 2) 落合秀信 2)

講演会

○ 講演

災害シンポジウム：

災害時における災害拠点病院の役割と県北地区の課題

2020. 7. 3 延岡市 延岡看護学校

長嶺育弘

○ 講演

宮崎県防災士養成研修：災害医療について

2021. 3. 13、日向市 ホテルベルフォート日向、宮崎県防災士ネットワーク

長嶺育弘

○ 講演

宮崎県北地域における救急・脳卒中フォーラム

県北地域における病院前救急診療の現状と問題点について：救命救急センターの立場から

2021. 3. 13、延岡市 延岡総合文化センター、宮崎県、宮崎大学、県立延岡病院

長嶺育弘

○ パネルディスカッション

宮崎県北地域における救急・脳卒中フォーラム

パネルディスカッション：

県北地域における救急医療の充実に向けて～病院前診療（ドクターヘリ・ドクターカー）と遠隔診療支援システムの活用

2021. 3. 13、延岡市 延岡総合文化センター、宮崎県、宮崎大学、県立延岡病院

長嶺育弘

○ 講演

第17回地域医療ネットワーク連絡協議会

第5回在宅医療実施施設と救急医療機関の連絡協議会

パネルディスカッション コロナ下における延岡市の医療・福祉の現状とこれから

コロナ禍における延岡市の医療の現状とこれから、救命救急センターの立場から

2021. 3. 27

長嶺 育弘

講習会

- 日本救急医学会 ICLS 講習会
2020. 7. 4 延岡市 宮崎県立延岡病院
長嶺育弘

- 日本救急医学会 ICLS BLS コース 九州保健福祉大学第 1 回
2020. 11. 17 延岡市 九州保健福祉大学
長嶺育弘

- 日本救急医学会 ICLS BLS コース 九州保健福祉大学第 2 回
2020. 11. 24 延岡市 九州保健福祉大学
長嶺育弘

病理診断科

学会発表

- 再生不良性貧血加療中にリードスペースメーカー挿入した1剖検例
島尾 義也 外山孝典 山本展誉 石原 明
第109回日本病理学会総会, 2020. 4. 16-18 福岡市(web)

- 左乳腺腫瘍の1例
宮崎県立延岡病院 病理診断科
島尾 義也
第377回九州沖縄スライドコンファレンス, 2020. 9, 大分市(web)

- 症例検討会 胸水
稲田 千文
令和2年度第1回細胞診従事者研修会
2020. 12. 12 延岡市 九州保健福祉大学

- 症例検討会 婦人科
谷口 慎一郎
令和2年度第1回細胞診従事者研修会
2020. 12. 12 延岡市 九州保健福祉大学

- 子宮腫瘍の1例
宮崎県立延岡病院 病理診断科
島尾 義也
第379回九州沖縄スライドコンファレンス, 2021. 1, 宮崎市(web)

リハビリテーション科

その他

- 病院の車椅子の現状について
2020.9 病院学会 発表者 海蔵 健一

- 褥瘡とリハビリテーション
2020.7 褥瘡対策委員会 発表者 神澤 潤、島中 雄亮

- 腰痛体操、安全な車椅子移乗
2020.11 医療サービス向上委員会 発表者 山元 貴功

- とろみの付け方と食事介助
2020.10 摂食嚥下リソース講演講座 発表者 佐藤 愛佳

- 車椅子移乗
2020.4 新人看護師研修 発表者 鍋倉 敦

- 腰痛予防と車椅子移乗
2020.6 ナースエイド研修会 発表者 竹本 秀雄

- 安全な車椅子移乗、認知症体操、食事前の体操
2020.11 6西病棟勉強会 発表者 竹本 秀雄、海蔵 健一、天辰 雅子

臨床検査科

研修会

- MCL の一症例
石神 加納子
第 81 回宮崎県血液疾患検討会（症例提示・解説）
2020. 12. 11 web 開催

- APL の一症例
水谷 早貴
第 82 回宮崎県血液疾患検討会（症例提示・解説）
2021. 2. 19 web 開催

- ここに注目！血液検査
久方 倫子
2020 年度 これだけは知っておきたい宮臨技セミナー
2021. 2. 27 web 開催

- 症例検討会 胸水
稲田 千文
令和 2 年度第 1 回細胞診従事者研修会
2020. 12. 12 延岡市 九州保健福祉大学

- 症例検討会 婦人科
谷口 慎一郎
令和 2 年度第 1 回細胞診従事者研修会
2020. 12. 12 延岡市 九州保健福祉大学

- 感染症法と新型コロナウイルスの検査法について
那須 一生
チーム医療セミナー
2020. 9. 16 延岡市 県立延岡病院

栄 養 管 理 科

その他

- 当院栄養サポートチーム（NST）における歯科医師連携の現状
森田侑莉、城野愛子、湯池咲子、迫分彩、甲斐栄里佳、河野裕子、戸井田達典、
井川加織、土居浩一
第20回県立延岡病院学会 2020.9.2 延岡市

- 全国自治体病院協議会雑誌掲載
栄養管理科の取り組み
湯池咲子
全国自治体病院協議会雑誌 2020.6 第59巻6月号「えいよう」 P142.143

臨床工学科

学会発表

- 当院における CART の現状
山内 隆嗣
第 1 回宮崎県 CART 検討会 2020. 10. 29 (WEB)

- 遠隔モニタリング実施患者-外来間隔延長の取り組みについて-
楠木 一沙 出水 拓也 福来 秀満 井 晴彦 白地 広人 外山 芳久 山内 隆嗣
永田 浩一 中西 清隆 山本 展誉 矢野 隆郎
第 21 回病院学会 2021. 03. 03 (延岡病院)

- 当臨床工学技科における COVID-19 の対応
出水 拓也
第 1 回九州臨床工学技士会 リンクス X 委員会 2021. 3. 5 (WEB)

- 電波法改正とベッドサイドモニター
永田 浩一
チーム医療セミナー 2021. 03. 17 (延岡病院)

薬 剤 部

研究会

- 当院の病棟薬剤師による薬学的介入の現状と課題
～ファーマシューティカルケアの実践を目指して～
大森 開
2021. 3. 14 宮崎県病院薬剤師会研修会 Web 開催

その他

- 病棟薬剤師による薬学的介入の実態
～ファーマシューティカルケアの実践を目指して～
冨師 沙友里
2021. 3. 3 第 2 1 回県立延岡病院学会

看護部

学会発表

1. 第33回日本老年脳神経外科学会 誌上発表

- 老年脳卒中急性期患者が排尿障害を起こす要因
中内 健太

2. 令和2年度 宮崎県看護研究学会 2021.3.6 宮崎市

- 人工膝関節全置換術後患者の離床に関する臨床判断の違い
～新人看護師と熟練看護師への調査から見えてきたこと～
園田 美里
- A病院における終末期患者とその家族に対する看護師の関わり
請関 優利子
- 点滴自己抜去予防に向けた取り組み
～独自の点滴自己抜去危険度スコアシートの活用～
伊東 鈴奈
- 放射線技師・看護師の急変時対応に関する調査で明らかになった今後の課題
稲葉 正子
- 入院中の小児に付き添う家族への関わり
～吸引を必要とする小児に付き添う家族の思いを通して～
久光 理央
- A病院循環器病棟における虚血性心疾患と心疾患患者に対する禁煙指導についての
実態と今後の課題 (誌上発表)
米田 秋子
- A病棟脳神経外科における排尿を促すための取り組み (誌上発表)
佐藤 琴美
- 人工股関節置換術後の脱臼予防指導の実態調査 (誌上発表)
～脱臼予防指導の見直しと患者教育の強化へ向けて～
西原 慶太

- 妊婦が抱える誘発分娩への不安や思い (誌上発表)
～誘発分娩説明後のインタビュー調査を通して～
徳村 絵夢
- HCU 病棟看護師に対する家族看護に関する意識の変化 (誌上発表)
～取り組み前後のアンケート結果から見えてきた現状と今後の課題～
宮田 麻矢
- 災害時アクションカード内容に対する認識と今後の課題 (誌上発表)
～学習会前後の調査からみえてきたもの～
小野 豊士

院内学会等発表

1. 第 35 回看護師自治会研究発表 2021. 1. 16 県立延岡病院

- 側臥位手術における体位固定マニュアルの導入前後での看護師の認識の変化
手術室 黒木 悠 坂田 光司 楠 和樹
- A 病院救命救急センターにおけるグリーンケアの現状と課題
3 西病棟 安田 友美 那須 麻也子 一政 英美 森久保 裕
- リリーフに対する小児病棟看護師の思い
4 東病棟 増田 莉奈 内野 優美子 木原 奈津子 明利 渚
- 地域医療施設からの評価による A 病院透析導入指導の課題
透析室 大田 和宏 奥本 絵里奈
- 感染予防パンフレット使用による指導の効果と課題
5 東病棟 藤島 全基 甲斐 菜美子 岡村 博子 増田 基子
- A 病院消化器センターにおけるストーマ経過記録の実態調査からみえたこと
6 東病棟 黒木 由夏 甲斐 早織

2. 卒後 2 年目 (基礎Ⅱ) 事例研究発表 2020. 11. 30 県立延岡病院

- イレウスが改善せず精神不安定となった患者との関わり
～今後の看護のためにプロセスレコードを振り返る～
6 東病棟 古川 純

- 頻回なナースコールから看護のあり方を探る
～プロセスレコードを振り返って～
6 東病棟 姫野 瑞希
- パーキンソン症状出現時の患者への関わりを振り返って
～身体症状とその背景に着目して～
6 西病棟 田辺 彩乃
- 成人期にある脊椎・脊髄損傷の患者との関わりを振り返って
6 西病棟 浮島 実奈美
- 隔離下における患者の看護
～新型コロナウイルス感染症患者との関わりを振り返って～
7 東病棟 坂本 鮎美
- 長期入院でストレスを抱える患者に対する関わりについて
～レジメン変更を繰り返し入院が長期化した患者が感情的になった
場面を振り返って～
5 東病棟 見山 あかね
- 家族と行ったエンゼルケアを振り返って
5 西病棟 井上 苑美
- 心不全の終末期看護での関わり方を振り返って
～患者の尊厳を保持しつつ身体的苦痛を軽減する看護とは～
5 西病棟 甲斐 祐里
- 虫垂炎性腹膜炎の再入院・手術により、ストレスを抱えた患児の看護
4 東病棟 有田 理恵
- 我が子に障がいが残ると告知された母親との関わりについて
周産期センター 徳永 あずみ
- 院外母児分離状態にある母親への支援
4 西病棟 富田 千夏
- 双子を出産したうつ病の既往をもつ褥婦への育児支援
4 西病棟 大田原 瑞希

- 成功体験により自己効力感が変化した患者との関わりを振り返る
3 東病棟 三樹 彩果

- 拒薬の強い患者との関わりを振り返る
3 東病棟 浜田 悠希

- 両下肢切断術を控えた患者との関わりを振り返って
3 西病棟 山本 哲也

- 両下肢熱傷にてアンプタ決定後の患者との関わりを振り返って
3 西病棟 武井 美樹

県立延岡病院学会

1. 第20回延岡病院学会 2020.9.2~9.3

- 継続した産前訪問への取り組み
～母親へのインタビューから効果を検討する～
周産期センター 小森 葉月
- 脳神経センターにおける内服自己管理判断基準の統一化への取り組み
～FIMを活用した判断基準を用いて～
3東病棟 黒木 龍二
- 当院での腎代替療法選択外来の現状
～shared decision makingに基づいた意思決定支援～
人工透析室 土居 美子
- 当院栄養サポートチーム（NST）における歯科医師連携の現状
栄養管理科 森田 侑莉
- 老年脳卒中急性期患者が排尿障害を起こす要因
脳卒中リハビリテーション看護認定看護師 中内 健太
- 造影CT検査の造影剤請求漏れに対するシステム構築について
放射線科 長友 俊樹
- 心不全に対するフロセミドと血管拡張薬の早期投与について
循環器内科研修医 御上 貴史
- 全身麻酔手術は、脊椎くも膜下麻酔手術より低侵襲であるか？
eGFR(estimated glomerular filtration rate;ml/min/1.73m²)を用いた術前・術後腎機能評価から
麻酔科研修医 長友 優菜
- 当院の車椅子の実態について
～早期離床を車椅子から見直す～
リハビリテーション科 海藏 健一

- 入院患者の履物調査
～転倒を起こしやすい履物使用中患者の割合と必要な看護介入～
6 東病棟 本田 光司

- 整形外科病棟における禁煙指導の実態調査
～調査からみえてきた今後の取り組み～
6 西病棟 奈須 美佳

- 身体抑制に関する看護師の意識調査
6 西病棟 後藤 奈津美

- 熊本水害による DMAT 派遣での被災病院支援の内容と今後の課題
救急看護認定看護師 橋口 佳慎

- バーチャルグリッド処理画像における画質の検討
放射線科 神崎 智大

- 当院での敗血症に対する早期の抗菌薬投与について
救命救急科研修医 荒川 大輝

- 2. 第 21 回延岡病院学会 2020. 3. 3～3. 4**
- 成長日記が早産児の家族にもたらす影響について
周産期センター 中村 美月

- A 病棟における内服自己管理患者のインシデント分析
～内服自己管理アセスメントシートを使用し問題を見つける～
6 東病棟 柏田 千明

- 癌性皮膚潰瘍を伴う患者に対する退院指導
～患者の自立支援を目指して～
6 東病棟 川崎 里佳

- 遠隔モニタリング実施患者フォローアップ期間延長への取り組み
臨床工学科 楠木 一沙

- 病棟薬剤師による薬学的介入の実態
～ファーマシューティカルケアの実践を目指して～
薬剤部 函師 沙友里

- DELTA プログラム導入後の慢性硬膜下血腫患者予後についての検討
脳神経外科研修医 吉田 瑛建
- 当院における小児期発症てんかん患者の実態調査
小児科研修医 川口 涼大
- 小児病棟看護師の感染経路別予防策に関する意識調査
4 東病棟 高橋 志保
- 外科的手術の術後疼痛管理について
「痛みを訴える患者の評価値」と「視覚的に捉えた看護師の評価値」の相違
6 東病棟 小栗 香織
- 認知症ケアチーム立ち上げと活動の報告
精神科認定看護師 佐藤 由佳子
- 心臓血管センターの新循環器用X線装置と旧装置の比較
放射線科 田代 祐麻
- 宮崎県立延岡病院 歯科口腔外科における口腔癌一次症例の臨床統計学的検討
歯科口腔外科研修医 花森 久典
- アルコール依存症患者のアルコール離脱予防についての検討
救命救急科研修医 上池 陸人

県民健康講座

- 2020. 8. 19 COVID19時代の本院麻酔・集中治療のありかた
麻酔科 矢野 隆郎

チーム医療セミナー

- 2020. 5. 20 令和2年度診療報酬改訂について
～ 当院に関連のある新規届出項目及び変更項目を中心に ～
医事・経営企画課医事担当
- 2020. 7. 15 Advance Care Planning について考えていこう
看護部 吉田希美
- 2020. 9. 16 感染症法と新型コロナウイルスの検査法について
臨床検査科 那須一生
- 2020. 11. 18 新型コロナウイルス治療薬について
薬剤部 林 佑哉
- 2021. 1. 20 新型コロナウイルス感染症に係る診療報酬請求の現状
DPC入力の注意点
医事・経営企画課医事担当／診療情報管理室
- 2021. 3. 17 電波法について
臨床工学科 永田浩一

